

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 地域包括ケア課  
 担当名: 認知症・虐待防止担当  
 内線: 3251 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B27	共生のための「チームオレンジ」構築支援事業		一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	在宅高齢者支援事業費	
事業期間	令和 3年度～ 令和 7年度	根拠法令	介護保険法第5条3項、認知症総合戦略推進事業実施要項		宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保	SDGsゴール	
					分野施策	010205 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明					
認知症の人に対する地域の支援を広げるため、「チームオレンジ」を構築するとともに、認知症本人による「希望大使」を設置し、本人発信を支援する。 (1) 「チームオレンジ」構築支援事業 会議や研修の開催方法の変更による減 △3,456千円 (2) 認知症本人大使「埼玉県希望大使」任命事業 経費の節減による減 △100千円 国庫支出金の受入による財源更正			(1) 事業内容 ア 「チームオレンジ」構築支援事業 (ア) オレンジチューター派遣事業 5,550千円 地域において認知症の人やその家族と認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ」の構築を行う市町村を直接支援する専門職（オレンジチューター）を設置、派遣する。 (イ) チーム関係者向けセミナーの開催 1,911千円 「チームオレンジ」の設置について市町村担当者等向けの説明会を開催する。 (ウ) ステップアップ講座標準テキストの作成 1,195千円 認知症サポーターが実際の支援を開始する前に受講する、市町村研修の標準テキストを作成し、支援の向上を図る。 イ 認知症本人大使「埼玉県希望大使」任命事業 460千円 認知症本人の発信支援を行うため、「埼玉県希望大使」を設置する。 (2) 事業計画 ア 「オレンジチューター」を配置（1名） 「チームオレンジ」の構築を支援するために各市町村に配置する、コーディネーター向けの研修開催（2回）、個別支援 イ 「埼玉県希望大使」を任命（3名の予定） 県内各地で開催される認知症サポーター養成講座等で講話などの普及啓発活動を行う。 (3) 事業効果 ア 地域で認知症の人と家族を支える体制を整備する。 イ 認知症本人の普及啓発活動により、認知症に対しての理解が深まる。 (4) 補正予算の概要 ア 会議及び研修会の開催方法をウェブに切り替えたことによる経費の減額 イ 国庫支出金の受入による財源更正					
2 事業主体及び負担区分								
(1) (国10/10・県0) (2) (国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況								
なし								
9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,556	△3,396					△160	5,320
現計額	8,876	8,656					220	